5

システム構成とパスワードセキュリティ

本章では、パソコン本体のシステム構成の設定や、
パスワードの登録／削除などについて説明します。

システム構成の設定

パソコン本体のシステム構成は、セットアッププログラムで設定します。
通常は、Windows上の「東芝HWセットアップ」、「東芝省電力ユーティリティ」、システムの「デバイスマネージャ」などでの設定をおすすめします。

セットアッププログラムとWindows上の設定が異なる場合、Windows上の設定が優先されます。

- ご使用のシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- セットアッププログラムで設定した内容は、内蔵バッテリで保持するため、電源を切っても消えません。ただし、内蔵バッテリが消耗した場合は標準設定値に戻ります。

東芝HWセットアップ

「東芝HWセットアップ」は、ハードウェアの各種機能を設定するユーティリティです。

起動方法

1 ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックする

2 ［東芝HWセットアップ］をダブルクリックする

メモ

・「スーパーバイザパスワード設定ツール」でユーザパスワードモードを「HWセットアップの起動禁止」に設定している状態で、パソコンの電源を入れたときにユーザパスワードを入力すると、「東芝HWセットアップ」は起動しません。

☞「スーパーバイザパスワード設定ツール」について
➪「本章 4-2 スーパーバイザパスワード」

［標準設定］ボタンを押すと、すべての項目がご購入時の設定状態に戻ります。

［全般］タブ

BIOSのバージョンやハードディスクドライブのモード、メモリ容量などを表示します。このタブでは設定の変更はできません。

［パスワード］タブ

パソコンの電源を入れたときに入力するパスワードの設定や削除を行います。

☞ パスワードについて ➪「本章 4 パスワードセキュリティ」

［デバイスの設定］タブ

パソコンが起動したときにBIOSが初期化する装置を指定します。

デバイスの設定

●全デバイス設定

すべての装置を初期化します。通常はこちらに設定します。

● OSによる設定

システムをロードするのに必要な装置のみ初期化します。それ以外の装置はシステムが初期化します。

［プリンタ］タブ

プリンタなど、パラレルポートに接続する機器の設定をします。ご使用になるプリンタ、またはその他の機器にあわせて設定してください。

プリンタポートモード

● ECP

ECP対応に設定します。大半のプリンタではECPに設定します。

●双方向

双方向に設定します。一部のプリンタ、またはプリンタ以外のパラレルインタフェース機器を使用する場合に設定します。

［ポインティング装置］タブ

アキュポイントⅡやマウスについて設定します。

ポインティング装置

●内部／外部を自動選択

システム起動時に、PS/2 マウスが接続されている場合は、PS/2 マウスだけが使用できます。システム起動時に、PS/2 マウスが接続されていない場合は、アキュポイントⅡだけが使用できます。

●内部／外部を同時使用

アキュポイントⅡと PS/2 マウスを同時に使用できます。

・PS/2 マウスの仕様によっては、［内部／外部を同時使用］に設定しても、アキュポイントⅡと同時に使用できない場合があります。その場合は、［内部／外部を自動選択］に設定し、PS/2 マウスだけで使用してください。

［ディスプレイ］タブ

表示する装置を選択します。

起動時の表示装置

●内部／外部を自動選択

システム起動時に、外部 CRT ディスプレイが接続されている場合は、外部 CRT ディスプレイだけに表示します。システム起動時に、外部 CRT ディスプレイが接続されていない場合は、本体のディスプレイに表示します。

●内部／外部を同時使用

外部ディスプレイと本体のディスプレイの両方に表示します。

☞ 表示の切り替え ➪「3 章 9-CRT ディスプレイやテレビを接続した場合」

［CPU］タブ

インテル® Pentium® III プロセッサモデルのみ表示されます。

ＣＰＵの操作について設定します。

プロセッサシリアル番号

プロセッサシリアル番号の機能を有効にするかどうかの設定をします。

●有効にする

●無効にする

［OSの起動］タブ

OSの起動

システムを起動するディスクドライブの順番を選択します。
通常は［FDD→HDD→CD-ROM→LAN］に設定してください。

起動装置の選択メッセージ

電源を入れたときに、メニュー起動メッセージを表示するかどうかを設定します。

●表示する

メニュー起動メッセージを表示します。
電源を入れると、次の「メニュー起動メッセージ」が1、2秒間表示されます。

```
Press［F2］for the boot device selection menu
```

このメッセージが表示されている間にF2キーを押すと、起動するドライブの選択メニュー画面が表示されます。起動したいドライブに対応したキーを押すと、一時的にそのドライブを起動最優先ドライブに設定し、起動します。選択するキーは次のようになっています。

F キー･･･フロッピーディスクドライブから起動します。
B キー･･･パソコン本体のハードディスクドライブから起動します。
C キー･･･ドライブ*から起動します。
N キー･･･内蔵LANから起動します。
D キー･･･通常の設定された起動ドライブから起動します。

*ドライブが内蔵されていない場合、使用できません。
外付けCD-R/RWドライブ（型番：PACDR002）を接続すると使用できます。

なお、これらのキーによって設定は変更されません。

・電源を入れたときや再起動時に、キーを押し続けた場合は、設定内容と違うドライブから起動することができます。

●表示しない

メニュー起動メッセージを表示しません。

［キーボード］タブ

キーボードについて設定します。

外部キーボードのFnキー割り当て

外部キーボードでFnキーの代わりに使用できるキーを設定します。
Fnキーの割り当てをしない場合は、［無効］に設定します。

［USB］タブ

USB 対応機器について設定します。

USB レガシーサポート

USB キーボードやマウスのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

●有効にする
レガシーサポートを行います。ドライバなしで USB キーボード、USB マウスが使用可能になります。

●無効にする
レガシーサポートを行いません。通常はこちらに設定します。

［LAN］タブ

LAN 機能について設定します。

LAN のウェイクアップ

LAN のウェイクアップ機能とは、ネットワークで接続された管理者のパソコンからの呼び出しにより、自動的に電源を入れる機能です。Wake-up on LAN 機能とも呼びます。
LAN のウェイクアップ機能を使用する場合は、必ず AC アダプタを接続してください。

●使用する

●使用しない

内蔵 LAN

内蔵 LAN の機能を有効にするかどうかの設定をします。通常は［使用する］に設定してください。

●使用する

●使用しない

［アラーム］タブ

本体のアラーム音について設定します。

アラームの設定

●アラーム音量
アラームの音量をスライダーバーで調整します。
次のなかからアラームを鳴らす項目をチェックします。
・バッテリ消耗時にアラーム音を鳴らす
・パネルを閉じたときにアラーム音を鳴らす

●システムビープ音を鳴らす
バッテリ消耗時、パネルを閉じたとき以外のアラーム音を鳴らす場合はチェックします。

ヘルプの起動方法

1 ［東芝 HW セットアップ］を起動し、画面右上の ? をクリックする
マウスポインタが ? に変わります。

2 画面上の知りたい場所をクリックする
説明文がポップアップで表示されます。

③ セットアッププログラム

1 セットアッププログラムを起動する方法

・「スーパーバイザパスワード設定ツール」でユーザパスワードモードを「HW セットアップの起動禁止」に設定している状態で、パソコンの電源を入れたときにユーザパスワードを入力した場合には、セットアッププログラムは起動しません。

☞「スーパーバイザパスワード設定ツール」について
➪「本章 4-2 スーパーバイザパスワード」

Esc キーで起動する

1 Esc キーを押しながら電源を入れる

「Check system. Then press [F1] key.」と表示されます。

2 F1 キーを押す

セットアッププログラムが起動します。

MS-DOS 上から起動する（98）

Windows 98 のみ使用できます。
Windows 2000 の場合、MS-DOS 上からは起動できません。

1 ［スタート］-［Windows の終了］-［MS-DOS モードで再起動する］を選択する

［スタート］-［プログラム］-［MS-DOS プロンプト］からは起動できません。

2 C D Space ¥ T O S S E T と半角英数字で入力し、Enter キーを押す

プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

3 U S と半角英数字で入力し、Enter キーを押す

英語モードに切り替わります。

4 T S E T U P と半角英数字で入力し、Enter キーを押す

セットアッププログラムが起動します。

2 セットアッププログラムを終了する方法

変更した内容を反映させて終了します。

1 End キーを押す

画面にメッセージが表示されます。

2 Y キーを押す

設定内容が反映され、セットアッププログラムが終了します。
変更した項目によっては、再起動されます。

セットアッププログラムを途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合に行います。
この場合は変更した内容はまったく反映されません。設定値は変更前の状態のままです。

1 Esc キーを押す

画面にメッセージが表示されます。

2 Y キーを押す

セットアッププログラムが終了します。

❸ セットアッププログラムの画面

セットアッププログラムには次の２つの画面があります。
（注）画面は標準設定値の表示例です。

＊１　モデルによって異なります。
＊２　インテル® Pentium® III プロセッサモデルのみ表示されます。
＊３　ドライブが内蔵されていない場合、表示されません。

☞ 設定項目の詳細について ➪「本節 4 設定項目」

基本操作

基本操作は次のとおりです。

変更したい項目の選択方法

セットアッププログラム画面中、反転している部分が現在変更できる項目です。
変更する項目に移動するには、↑、↓、←、→キーを使います。

項目の内容の変更方法

SpaceまたはBackSpaceキーを押す
項目の内容が変わります。

画面を切り替える方法

PgDnまたはPgUpキーを押す
次の画面または前の画面に切り替わります。

設定内容を標準値にする方法

Homeキーを押す
次にあげる項目以外は、設定内容が標準設定になります。

・PASSWORD
・Hard Disk Mode
・Write Policy

④ 設定項目

カーソルが移動しない項目は、参照のみで変更できません。
本項では、標準設定値を「標準値」と記述します。

① MEMORY　メモリ容量を表示する

▼ Total

本体に取り付けられているメモリの総容量が表示されます。

② PASSWORD　ユーザパスワードの登録／削除をする

☞ ユーザパスワードの登録／削除の方法 ➪「本章 4-1 ユーザパスワード」

▼ Not Registered

ユーザパスワードが設定されていないときに表示されます（標準値)。

▼ Registered

ユーザパスワードが設定されているときに表示されます。

③ BATTERY　バッテリで長く使用するための設定をする

▼ Battery Save Mode

バッテリセーブモードを設定します。
「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウが開きます。
「User Setting」を選択した場合のみ、設定の変更ができます。
「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの設定項目は次のように表示されます。

● Full Power（標準値）	● Low Power	● User Setting（設定例）
Processing Speed = High	Processing Speed = Low	Processing Speed= Low
CPU Sleep Mode = Enabled	CPU Sleep Mode = Enabled	CPU Sleep Mode = Enabled
Display Auto Off= 30Min.	Display Auto Off = 03Min.	Display Auto Off= 03Min.
HDD Auto Off = 30Min.	HDD Auto Off = 03Min.	HDD Auto Off = 03Min.
LCD Brightness = Bright *1 Super-Bright *2	LCD Brightness = Semi-Bright *1 Bright *2	LCD Brightness = Semi-Bright
Cooling Method = Maximum Performance	Cooling Method = Battery Optimized	Cooling Method = Battery Optimized

（注）LCD Brightness（LCD 輝度）の表示は次の状態で変わります。
＊1　バッテリ駆動時
＊2　AC アダプタ使用時

次に「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

● Processing Speed

処理速度を設定します。
使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

・High .... 処理速度を高速に設定する
・Low................................. 処理速度を低速に設定する

● CPU Sleep Mode

CPUが処理待ち状態のとき、電力消費を低減します。

・Enabled .... 電力消費を低減する
・Disabled .... 電力消費を低減しない

・一部のアプリケーションソフトでは「Enabled」に設定すると処理速度が遅くなることがあります。その場合は「Disabled」に設定してください。

● Display Auto Off（表示自動停止時間）

時間を設定すると、設定した時間以上キーを押さない場合（マウスやアキュポイントⅡの操作も含む）にディスプレイを消灯して節電します。画面に表示されている内容が見えなくなりますが、これは故障ではありません。
画面に表示するには、Shift キーを押すか、マウス、アキュポイントⅡを操作してください。

・Disabled .... 自動停止機能を使用しない

自動停止時間の設定は「01Min.」「03Min.」「05Min.」「10Min.」「15Min.」「20Min.」「30Min.」から選択します。

● HDD Auto Off（HDD自動停止時間）

設定した時間以上ハードディスクの読み書きをしない場合に、ハードディスクの回転を止めて節電します。
自動停止時間の設定は「01Min.」「03Min.」「05Min.」「10Min.」「15Min.」「20Min.」「30Min.」から選択します。

・ハードディスクドライブを保護するため、「Disabled」は設定できません。

● LCD Brightness（LCD輝度）

画面の明るさを選択します。

・Semi-Bright .... 低輝度に設定する
・Bright .... 高輝度に設定する
・Super-Bright................. 最高輝度に設定する

● Cooling Method（CPU熱制御方式）

CPUの熱を冷ます方式を選択します。

- Maximum Performance ... CPU温度が上昇したときに、本体内にあるファンを高速回転させてCPUに風を送り、冷やします。
- Performance .... CPUが高温になったときに、本体内にあるファンが作動しCPUに風を送り、冷やします。
- Battery Optimized ..... CPUが高温になったときに、CPUの処理速度を「Low」にして温度を下げます。「Low」にしても、温度が上がる場合はファンを作動させます。

- CPUが高熱を帯びると故障の原因になります。高熱状態が続く場合は、自動的にレジューム機能を効かせた状態で電源を切り、パソコンを故障から守ります。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウを閉じるには、↑↓キーを押して選択項目を「Cooling Method」の外に移動します。

④ PERIPHERAL　HDDや外部装置の設定をする

▼ Pointing Devices（ポインティング装置）

アキュポイントⅡを使用するか、外部PS/2マウスを使用するかを設定します。

- Auto-Selected（標準値） アキュポイントⅡまたはPS/2マウスどちらか1つを使用する
  PS/2マウスを接続している場合は、PS/2マウスだけが使用できます。PS/2マウスを接続していない場合は、アキュポイントⅡが使用できます。
- Simultaneous アキュポイントⅡとPS/2マウスを同時に使用する

▼ Ext Keyboard "Fn"

外部キーボードのFnキーの割り当てをします。

- Disabled（標準値）...... Fnキーの代替えキー割り当てをしない
- Enabled .... 次のキーをFnキーの代替えキーとして割り当てる
  - Left Alt+Left Shift
  - Left Ctrl+Left Alt
  - Right Ctrl+Right Alt
  - Left Alt+Left Shift
  - Right Alt+Right shift
  - Left Alt+CapsLock

▼ USB Legacy Emulation

USBキーボード／マウスのエミュレーションを設定します。

・Disabled（標準値）...... USBキーボード／マウスのレガシーサポートを行わない
・Enabled .... レガシーサポートを行う
ドライバなしでUSBキーボード／マウスが使用可能になります。

・このUSB Legacy Emulationは、USBマウス、USBキーボードだけに適用されます。USBマウスとUSBキーボードを使用する場合は、パソコンを起動する前にマウス、キーボードを接続しておく必要があります。

▼ Parallel Port Mode

パラレルポートモードの設定をします。

・ECP（標準値）............... ECP対応に設定する
大半のプリンタでは、ECPに設定します。
・Std.Bi-Direct. .... 双方向に設定する
一部のプリンタおよび、プリンタ以外のパラレル装置を使用する場合に設定します。

▼ Hard Disk Mode

ハードディスクのモードを設定します。
項目を変更する場合は、パーティションの再設定を行なってください。

・Enhanced IDE(Normal)（標準値）
.... 通常はこちらを選択する
・Standard IDE .... Enhanced IDEに対応していないOSを使用する場合に選択する
この場合、528MBまでが使用可能となり、残りの容量は使用できません。

⑤ BOOT PRIORITY　ブート優先順位を設定する

▼ Boot Priority

システムを起動するディスクドライブの順番を設定します。

・FDD→HDD→CD-ROM→LAN（標準値）
・HDD→FDD→CD-ROM→LAN
・FDD→CD-ROM→LAN→HDD
・HDD→CD-ROM→LAN→FDD
・CD-ROM→LAN→FDD→HDD
・CD-ROM→LAN→HDD→FDD

（上記5項目：指定のドライブ順に起動する）

通常は「FDD→HDD→CD-ROM→LAN」に設定してください。

・電源を入れたときや再起動時に、次のキーを押し続けると、設定内容と違うドライブから起動することができます。
F キー ... フロッピーディスクドライブから起動します。
B キー ... パソコン本体のハードディスクドライブから起動します。
C キー ... ドライブから起動します。
N キー ... 内蔵 LAN から起動します。
D キー ... 通常の設定された起動ドライブから起動します。
なお、これらのキーによって設定は変更されません。

▼ Power On Boot Select

電源を入れたときに起動するドライブを選択する機能を使用するかどうかの設定をします。
・Enabled .... 使用可能にする
・Disabled .... 禁止する
「Enabled」に設定した場合は電源を入れると「Press［F2］for the boot device selection menu」というメッセージが表示されます。F2キーを押して表示されるメニューから起動するドライブを選択します。選択するキーは次のようになっています。
F キー･･･フロッピーディスクドライブから起動します。
B キー･･･パソコン本体のハードディスクドライブから起動します。
C キー･･･ドライブ＊から起動します。
N キー･･･内蔵 LAN から起動します。
D キー･･･通常の設定された起動ドライブから起動します。
＊ドライブが内蔵されていない場合、使用できません。
外付け CD-R/RW ドライブ（型番：PACDR002）を接続すると使用できます。
なお、これらのキーによって設定は変更されません。

・電源を入れたときや再起動時に、キーを押し続けた場合は、設定内容と違うドライブから起動することができます。

⑥ DISPLAY　表示装置の設定をする

▼ Power On Display

表示装置を選択します。
・Auto-Selected（標準値）
.... システム起動時に外部 CRT ディスプレイを接続しているときは外部 CRT ディスプレイだけに、接続していないときは本体のディスプレイだけに表示する
・Simultaneous .... 外部 CRT ディスプレイと本体のディスプレイに同時表示する

・SVGA モードに対応していない外部 CRT ディスプレイを接続して、「Simultaneous」を選択した場合、外部 CRT ディスプレイには画面が表示されません。

5章 システム構成とパスワードセキュリティ

▼ LCD Display Stretch

内部ディスプレイの表示機能を選択します。

・Enabled .... 解像度の小さい表示モードを伸張して表示する
表示モードによっては伸張しない場合があります。

・Disabled（標準値）...... 解像度の小さい表示モードは伸張せずにそのまま表示する

▼ TV Type

テレビ受信機を選択します。

・NTSC(JAPAN)（標準値）... 日本と米国仕様のテレビ受信機

・PAL .... ヨーロッパ仕様のテレビ受信機

⑦ OTHERS その他の設定をする

▼ CPU Cache（キャッシュ）

CPU 内のキャッシュメモリを使用するかどうかの設定をします。
使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

・Disabled .... キャッシュメモリを使用しない

・Enabled（標準値）....... キャッシュメモリを使用する

「Enabled」を選択すると「OPTION」ウィンドウが開きます。
次に「OPTION」ウィンドウの項目について説明します。

● Write Policy

キャッシュメモリへの書き込み方式を設定します。

・Write-back（標準値）.. 書き込み方式を「Write-back」に設定する
キャッシュメモリにデータを書き込み、キャッシュメモリの状態に応じてメインメモリに書き込みます。

・Write-through .... 書き込み方式を「Write-through」に設定する
キャッシュメモリとメインメモリに、同時にデータを書き込みます。

▼ Level 2 Cache

２次キャッシュを使用するかどうかの設定をします。
「CPU Cache」が「Disabled」に設定されている場合は変更できません。

・Enabled（標準値）....... ２次キャッシュを使用する

・Disabled ２次キャッシュを使用しない

▼ Processor Serial Number

＊インテル® Pentium® III プロセッサモデルのみ

プロセッサシリアル番号の機能を有効にするかどうかの設定をします。

・Disabled（標準値）...... 無効にする
・Enabled .... 有効にする

・「スーパーバイザパスワード設定ツール」でユーザパスワードモードを「プロセッサシリアルナンバー項目の非表示」に設定している場合、パソコンの電源を入れてユーザパスワードを入力したときには表示されません。

▼ Auto Power On（タイマ・オン機能）

・Windows 98 を使用している場合は「Auto Power On」の設定は無効になります。Windows 98 を使用している場合は Windows のタスクスケジューラを使用してください。
・タイマ・オン機能は 1 回のみ有効です。起動後は設定が解除されます。

タイマ・オン機能、Wake-up on LAN 機能の設定状態を示します。

・Disabled（標準値）...... タイマ・オン機能、Wake-up on LAN 機能とも設定されていない
・Enabled .... タイマ・オン機能、Wake-up on LAN 機能が設定されている

タイマ・オン機能、Wake-up on LAN 機能の設定は「OPTIONS」ウィンドウで行います。

次に「OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

アラームの時刻の設定は Space または BackSpace キーで行います。時と分、月と日の切り替えは ↑ ↓ キーで行います。

● Alarm Time

自動的に電源を入れる時間を設定します。

・Disabled .... 時間を設定しない

● Alarm Date Option

自動的に電源を入れる月日を設定します。

「Alarm Time」が「Disabled」の場合は、設定できません。

・Disabled .... 月日を設定しない

● Wake-up on LAN

ネットワークで接続された管理者のパソコンからの呼び出しにより、自動的に電源を入れます。
「Built-in LAN」が「Enabled」の場合に設定できます。
Wake-up on LAN機能を使用する場合は、必ずACアダプタを接続してください。
・Enabled........................ Wake-up on LAN機能を使用する
・Disabled .... Wake-up on LAN機能を使用しない

・パスワードとレジューム機能が設定してある状態で、タイマ・オン機能（Auto Power On）を設定してシステムを起動させた場合、インスタントセキュリティ状態で起動します。
インスタントセキュリティとは、画面表示をオフにし、キー入力（アキュポイントII、マウスを含む）もできない状態のことです。解除するには、パスワードを入力しキーを押します。
・インスタントセキュリティのパスワードは、起動時に入力したパスワードを使用します。

▼ Alarm Volume

アラームの音量を設定します。
・High（標準値）............. 大きな音でアラーム音を鳴らす
・Medium .... HighとLowの中間レベルの音でアラーム音を鳴らす
・Low................................ 小さな音でアラーム音を鳴らす
・Off.................................. アラーム音を鳴らさない
「ALARM VOLUME OPTIONS」ウィンドウが開きます。

次に「ALARM VOLUME OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

● Low Battery Alarm

バッテリ消耗時の警告音を設定します。
・Enabled（標準値）....... 警告音を鳴らす
・Disabled .... 警告音を鳴らさない

● Panel Close Alarm

ディスプレイが閉じられたことを知らせる警告音を設定します。
・Enabled（標準値）....... 警告音を鳴らす
・Disabled .... 警告音を鳴らさない

▼ System Beep

「Low Battery Alarm」「Panel Close Alarm」以外のビープ音を鳴らすかどうかを設定します。
・Enabled（標準値）....... システムビープ音を鳴らす
・Disabled .... システムビープ音を鳴らさない

⑧ CONFIGURATION

▼ Device Config.(デバイス・コンフィグ)

ブート時にBIOSが初期化する装置を指定する
- ・Setup by OS .... OSをロードするのに必要な装置のみ初期化する
  それ以外の装置はOSが初期化します。この場合、「PCカード」内の設定は「Auto-Selected」固定となり、変更できません。
- ・All Devices(標準値).. すべての装置を初期化する

・プレインストールされているOSを使用する場合は、「All Devices」を選択します。

⑨ I/O PORTS

I/Oポートの設定をする

▼ Serial

シリアルポートの割り当てを設定します。
- ・Not Used..................... シリアルポートを割り当てない
- ・COM1(標準値)
- ・COM2
- ・COM3
- ・COM4

(COM1〜COM4:指定のポートを割り当てる)

▼ Parallel

パラレルポートの割り当てを設定します。
「Not Used」以外を選択すると、「OPTION」ウィンドウが開きます。
「OPTION」ウィンドウの項目について次に説明します。

● DMA

DMAチャネルを設定します。
「Parallel Port Mode」が「ECP」の場合に設定できます。

⑩ PCI BUS

PCIバスの割り込みレベルを表示する

▼ PCI Bus

PCIバスの割り込みレベルを表示します。
変更はできません。

⑪ PC CARD

PCカードのモードを選択する

▼ Controller Mode

PCカードのモードを選択します。

- ・Auto-Selected(標準値) ... Windows 98／2000などの、Plug & Playに対応したOSを使用している場合、選択します。
- ・CardBus/16-bit .... Windows NT（Ver.4以下）を使用しているとき、または、Auto-Selectedで正常に動作しないCard Bus対応のPCカードを使用する場合に選択します。
- ・PCIC Compatible .... Windows NT（Ver.4以下）を使用しているとき、または、Auto-SelectedやCardBus/16 - bitで正常に動作しない16 - bit PCカードを使用する場合に選択します。

⑫ DRIVES I/O

HDDやドライブの設定

▼ HDD

ハードディスクドライブのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。
変更はできません。

▼ CD-ROM

＊ドライブが内蔵されていない場合、表示されません。

ドライブのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。
変更はできません。

・内蔵されているドライブがCD-ROMドライブではない場合も、すべて［CD-ROM］と表示されます。

⑬ FLOPPY DISK I/O

▼ Floppy Disk

フロッピーディスクドライブのアドレス、割り込みレベル、チャネルの設定を表示します。
変更はできません。

⑭ PCI LAN

▼ Built-in LAN

内蔵LANの機能を有効にするかどうかの設定をします。

- ・Enabled（標準値）....... 有効にする
- ・Disabled .... 無効にする

パスワードセキュリティ

本製品では、電源を入れたとき、スタンバイ状態や休止状態、インスタントセキュリティ状態から復帰するときにパスワードの入力を要求するパスワードセキュリティ機能を設定できます。
パスワードには、ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードがあります。
通常はユーザパスワードを登録してください。
スーパーバイザパスワードは、パソコン本体の環境設定を管理する人のために用意されています。スーパーバイザパスワードを登録すると、スーパーバイザパスワードを知らないユーザは、セットアッププログラムの設定を変更できないようにする、などいくつかの制限を加えることができます。
この制限を加える必要がなければ、ユーザパスワードだけ登録してください。
ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードに関して、次の表をご覧ください。
本節では、ユーザパスワードの設定方法、キーフロッピーディスク*1の作成方法、スーパーバイザパスワードプログラムについて説明します。

ユーザパスワード		スーパーバイザパスワード
設定方法	キーフロッピーディスク*1の作成	
・東芝HWセットアップ ・セットアッププログラム ※「東芝HWセットアップ」で設定することをおすすめします。	セットアッププログラム	スーパーバイザパスワード設定ツール ☞「本節 2 スーパーバイザパスワード」

*1　ユーザパスワードを忘れてしまった場合に使用します。

・パスワードは、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードでは、違うものを使用してください。

パスワードとして使用できる文字

パスワードに使用できる文字は次のとおりです。
パスワードは「＊＊＊＊（アスタリスク）」で表示されますので画面で確認できません。
よく確認してから入力してください。

<table>
<tr><td rowspan="3">使用できる文字</td><td>アルファベット（半角）</td><td>A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z</td></tr>
<tr><td>数字（半角）</td><td>0 1 2 3 4 5 6 7 8 9</td></tr>
<tr><td>記号（単独のキーで入力できる文字の一部）</td><td>－^@ [ ] ; : , . /　（スペース）</td></tr>
<tr><td>使用できない文字</td><td colspan="2">・全角文字（2バイト文字）
・日本語入力システムの起動が必要な文字
【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など
・単独のキーで入力できない（入力するときにShiftキーなどを使用する）文字
【例】|（バーチカルライン）、&（アンド）、~（チルダ）など
・￥（エン）
|￥_ キーや ‾\ろキーを押すと￥が入力されます。</td></tr>
</table>

1 ユーザパスワード

ユーザパスワードの登録

キーフロッピーディスクを作成したい場合は、「セットアッププログラム」で登録してください。また、その場合フォーマット済みの2DDまたは2HD（1.44MB）フロッピーディスクが必要です。

東芝HWセットアップでの登録

1 **［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックする**

2 **［東芝HWセットアップ］をダブルクリックする**

3 **［パスワード］タブで［ユーザパスワード］の［登録］をチェックする**

パスワードが登録されている場合は、［登録］にチェックがついています。その場合は、パスワードを削除してから登録してください。

☞ パスワードの削除 ➪「本節 1- ユーザパスワードの削除」

4 **［パスワードの入力］にパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする**

5 **［パスワードの確認］に同じパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする**

6 **表示されるメッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする**

セットアップ プログラムでの登録

1 **セットアッププログラムを起動する**

☞「本章 3-1 セットアッププログラムを起動する方法」

2 **カーソルバーを「PASSWORD」の「Not Registered」に合わせ、Spaceまたは BackSpaceキーを押す**

パスワード入力画面が表示されます。
パスワードが登録されている場合は、「PASSWORD」に「Registered」と表示されます。
その場合は、パスワードを削除してから、登録してください。

☞ パスワードの削除方法 ➪「本節 1-ユーザパスワードの削除」

3 **ユーザパスワードを入力する**

パスワードは 10 文字以内で入力します。入力すると 1 文字ごとに＊が表示されます。

☞ 入力できる文字 ➪「本節 - パスワードとして使用できる文字」

4 **Enterキーを押す**

1 回目のパスワードが確認され、パスワードの再入力画面が表示されます。

5 **2回目のパスワードを入力する**

パスワードは手順 3 と同じパスワードを入力してください。入力すると 1 文字ごとに＊が表示されます。

6 **Enterキーを押す**

ユーザパスワードが登録されます。2 回目のパスワードが 1 回目のパスワードと異なる場合は、再度パスワードの入力画面が表示されます。手順 3 からやり直してください。

7 **パスワードの設定が終了したら、Endキーを押す**

次のようなメッセージが表示されます。

```
Are you sure ? (Y/N)
Insert password service disk if necessary
```

8 **キーフロッピーディスクを作成する**

次の「キーフロッピーディスクの作成手順」に従って操作してください。
セットアップの内容が正しければ、Yキーを押します。Nキーを押すと、セットアップ画面に戻ります。

キーフロッピーディスクの作成手順

ユーザパスワードを忘れた場合に使用する、キーフロッピーディスクを作成します。キーフロッピーディスクが必要ない場合は、フロッピーディスクをセットしないで、Y キー を押してください。そのまま終了します。

☞ キーフロッピーディスクの使いかた
➩「本節　1-ユーザパスワードを忘れてしまった場合」

①フォーマット済みの 2DD または 2HD（1.44MB）フロッピーディスクをセットする

注 意 ・壊されては困るデータの入っているフロッピーディスクは使用しないでください。データが消失します。

② Y キーを押す

次のメッセージが表示されます。

```
Password Service Disk Type ? (1:2HD,2:2DD)
```

③セットされているフロッピーディスクが 2HD の場合は 1 キーを、2DD の場合は 2 キーを押す

フロッピーディスクへの書き込みを開始します（フロッピーディスクがセットされていない場合は、そのまま終了します）。
フロッピーディスクへの書き込みが終了すると、次のメッセージが表示されます。

```
Remove the password service disk, then press any key.
```

④フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押して終了する

ユーザパスワードの削除

東芝 HW セットアップでの削除

1 ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックする

2 ［東芝 HW セットアップ］をダブルクリックする

3 ［パスワード］タブで［ユーザパスワード］の［未登録］をチェックする

4 ［パスワードの入力］に登録してあるパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする

5 表示されるメッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする

・パスワードの入力エラーが 3 回続いた場合は、パスワード削除の操作ができなくなります。この場合は、パソコン本体の電源を入れ直し、再度設定を行なってください。

セットアップ プログラムでの削除

1 **セットアッププログラムを起動する**

☞「本章 3-1 セットアッププログラムを起動する方法」

2 **カーソルバーを「PASSWORD」の「Registered」に合わせ、Spaceまたは BackSpaceキーを押す**

パスワード入力画面が表示されます。

3 **登録してあるユーザパスワードを入力する**

入力すると1文字ごとに＊が表示されます。

4 **Enterキーを押す**

ユーザパスワードが削除されます。

入力したユーザパスワードが登録したユーザパスワードと異なる場合は、ビープ音が鳴りエラーメッセージが表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。手順3からやり直してください。

・入力エラーが3回続いた場合は、以後パスワードの項目にカーソルが移動できなくなります。この場合には、パソコン本体の電源を入れ直し、再度設定を行なってください。

ユーザパスワードを忘れてしまった場合

キーフロッピーディスクを使用して、登録したパスワードの解除と再設定ができます。

また、再設定したパスワードのキーフロッピーディスクも作成できます。

キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの2DDまたは2HD（1.44MB）フロッピーディスクが必要です。

・キーフロッピーディスクは、スタンバイ状態、休止状態（98）実行時には使用できません。これらの機能を実行中に、パスワードを忘れてしまった場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。
パスワードの解除を保守サービスに依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要です。

①「Password=」と表示されたら、キーフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして、Enterキーを押す

パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

```
Set Password Again ? (Y/N)
```

②ユーザパスワードを再設定する場合は、Yキーを押す

セットアップ画面が表示されます。「本節 1- セットアッププログラムでの登録」の手順2以降を行なってください。再設定後、システムが再起動します。

ユーザパスワードを再設定しない場合は、Nキーを押す

パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

```
Remove the Disk,then press any key
```

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押すと、システムが再起動します。

ユーザパスワードの変更

ユーザパスワードの削除を行なってから、登録を行なってください。

☞「本節 1-ユーザパスワードの削除」、「本節 1-ユーザパスワードの登録」

2 スーパーバイザパスワード

スーパーバイザパスワードは「スーパーバイザパスワード設定ツール」で設定します。
「スーパーバイザパスワード設定ツール」は、Windows 上からスーパーバイザパスワードの設定や設定の変更をするためのユーティリティです。

起動方法

1 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする

2 「C:¥Program Files¥Toshiba¥Windows Utilities¥SVPWTool¥SVPW32.exe」と入力する

3 [OK] ボタンをクリックする

詳しくは、「README.HTM」をご覧ください。

「README.HTM」の起動方法

1 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする

2 「C:¥Program Files¥Toshiba¥Windows Utilities¥SVPWTool¥README.HTM」と入力する

3 [OK] ボタンをクリックする

3 パスワードの入力

ユーザパスワードが設定されている場合、電源を入れると次のようになります。

- 「Password= 」と表示される
- 画面が消えた状態になる（タイマ・オン機能が設定されているとき）

この場合は、次のようにするとパソコン本体が起動します。

1 設定したとおりにパスワードを入力し、Enterキーを押す

Arrow Mode LED、Numeric Mode LEDは、パスワードを設定したときと同じ状態にしてください。
ユーザパスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

☞ キーフロッピーディスクの使いかた
➩「本節 1-ユーザパスワードを忘れてしまった場合」

・パスワードの入力ミスを3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

起動時にユーザパスワードを入力した場合

インスタントセキュリティ状態、スタンバイ機能、休止状態を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するには、ユーザパスワードまたはスーパーバイザパスワードを入力してください。

・スーパーバイザパスワードで、ユーザパスワードからの起動による制限事項を設定している場合、ユーザパスワードで起動すると制限を受けます。
スーパーバイザパスワードは「スーパーバイザパスワード設定ツール」で設定します。
☞「スーパーバイザパスワード設定ツール」について
➩「本節 2 スーパーバイザパスワード」

起動時にスーパーバイザパスワードを入力した場合

インスタントセキュリティ状態やスタンバイ機能を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するにはスーパーバイザパスワードを入力してください。ユーザパスワードの入力は受け付けません。
休止状態を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するには、ユーザパスワードまたはスーパーバイザパスワードを入力してください。

・スーパーバイザパスワードで、ユーザパスワードからの起動による制限事項を設定している場合、ユーザパスワードで起動すると制限を受けます。
スーパーバイザパスワードは「スーパーバイザパスワード設定ツール」で設定します。
☞「スーパーバイザパスワード設定ツール」について
➩「本節 2 スーパーバイザパスワード」
・パスワードは、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードでは、違うものを使用してください。

6

再セットアップ

本製品に同梱されているカスタム・リカバリCDまたはリカバリCDを使って、
システムやアプリケーションをご購入時の状態に戻すことができます。
本章では、カスタム・リカバリCDおよびリカバリCDの
使いかたについて説明します。

再セットアップとは

システムやアプリケーションをご購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。

再セットアップが必要なとき

次のようなときに、再セットアップしてください。

● C ドライブをフォーマットしてしまった
● ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった
● 電源を入れても、システム（Windows）が起動しない
● パソコンが正しく動作しない
● プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう 1 度インストールしたい　など

再セットアップする前に

「7 章 困ったときは」に、いろいろなトラブル解決方法が書かれています。そちらをご覧のうえ、解決できないときに再セットアップしてください。再セットアップすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。ご購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
また、ハードウェアなどの設定は、すべてご購入時の状態に戻ります。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

カスタム・リカバリCD／リカバリCDとは

1 カスタム・リカバリCDとは（Windows 98モデル）

Windows 98モデルには次のカスタム・リカバリCDが同梱されています。
・Product Recovery CD-ROM
・アプリケーション＆ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCDは、再セットアップのときに使用します。
再セットアップには、次の方法があります。

● 標準システムを復元する
ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているデバイスドライバやアプリケーションもすべて復元されます。
☞「本章 3 標準システムを復元する」

● 最小構成でシステムを復元する
Windowsのみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされませんので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
☞「本章 4 最小構成でシステムを復元する（Windows 98モデル）」

● アプリケーションやドライバごとに再インストールする
プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。
☞「本章 5 アプリケーションを再インストールする（Windows 98モデル）」

・カスタム・リカバリCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

2 リカバリCDとは（Windows 2000モデル）

Windows 2000モデルにはリカバリCD（「Product Recovery CD-ROM」）が同梱されています。
リカバリCDは、再セットアップのときに使用します。
☞「本章 3 標準システムを復元する」

Windows 2000モデルには、アプリケーションCD（「Application CD-ROM」）も同梱されています。アプリケーションCDは、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。
用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法については、アプリケーションCDをセットし、表示される画面をご覧ください。

・リカバリCD／アプリケーションCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

3 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされているWindowsやアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

・復元の途中、一定時間キーを押さない（アキュポイントⅡの操作を含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。画面を表示するには、Shiftキーを押すか、アキュポイントⅡを動かしてください。

1 準備

次のものを使用します。

● Product Recovery CD-ROM

●取扱説明書（本書）

ドライブが内蔵されていない場合、外付けCD-R/RWドライブ（型番：PACDR002）などをご用意ください。

Microsoft Office (*1) がプレインストールされているパソコンの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものを使用します。

● Microsoft® Office XP Personal CD-ROM

● Microsoft® Bookshelf® Basic CD-ROM

2 操作手順

Windows 98 モデルの場合

注意 ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
・復元を行うと、セットアッププログラムの設定内容は標準値に戻ります。

1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る

●ドライブが内蔵されていない場合
パソコンの電源を切り、外付けCD-R/RWドライブなどを接続してから、「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットしてください。

2 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。

3 キーボードのCキーを押しながら、パソコンの電源を入れる

「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

4 1キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 Yキーを押す

処理を中止する場合は、Nキーを押してください。

6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す

ここで表示される画面は、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

・「Product Recovery CD-ROM」が 1 枚の場合は、このメッセージは表示されません。

復元中は、次の画面が表示されます。

復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところに達し、もう 1 度グラフ表示が 100%に達すると完了です。

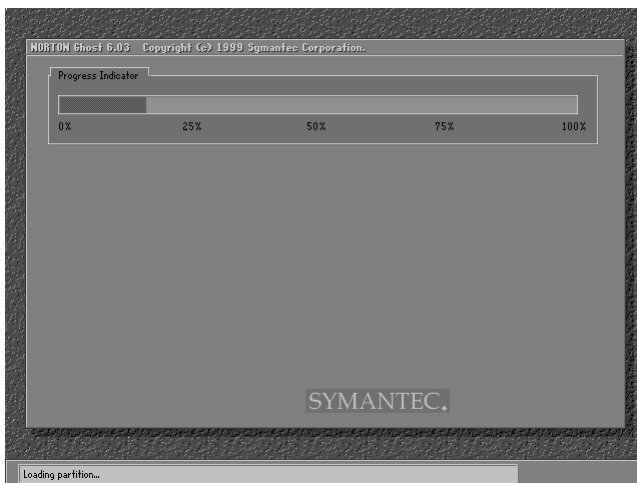
（表示例）

6 章 再セットアップ

7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、Enterキーを押してください。処理が続きます。

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

（表示例）

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

初期インストールソフトウェアの復元

「初期インストールソフトウェアの復元」は完了しました。

CD-ROMやフロッピーディスクを抜いてから、何かキーを

押して、マシンを再起動してください。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

外付けCD-R/RWドライブなどを接続している場合は、パソコンの電源を切りドライブを取りはずしてください。取りはずした後、電源を入れます。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ➪「1章 2-2 Windows 98のセットアップ」

Microsoft Office (*1) のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office (*1) は、以上の手順では復元されません。

Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を必ず参照のうえ、復元してください。

（*1）Microsoft® Office XP Personal

Windows 2000モデルの場合

 注 意

- 復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
  ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
- 復元を行うと、セットアッププログラムの設定内容は標準値に戻ります。

 メモ

- ご購入時の状態でシステムを復元した場合、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
  C ドライブ：NTFS システム

1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る

●ドライブが内蔵されていない場合
パソコンの電源を切り、外付けCD-R/RWドライブなどを接続してから、「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットしてください。

2 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。

3 キーボードの C キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

TOSHIBAのロゴが表示されたら C キーを離します。
「復元を開始します！よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

4 復元を行う場合は Y キーを、行わない場合は N キーを押す

Y キーを押すと、「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

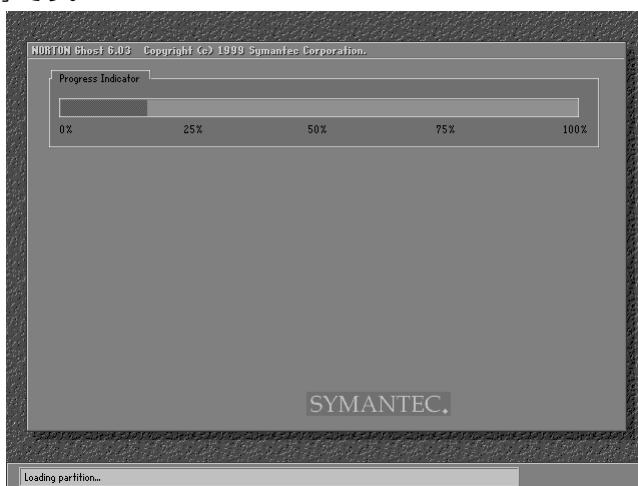
5 復元を実行する場合は Y キーを、復元を中止する場合は N キーを押す

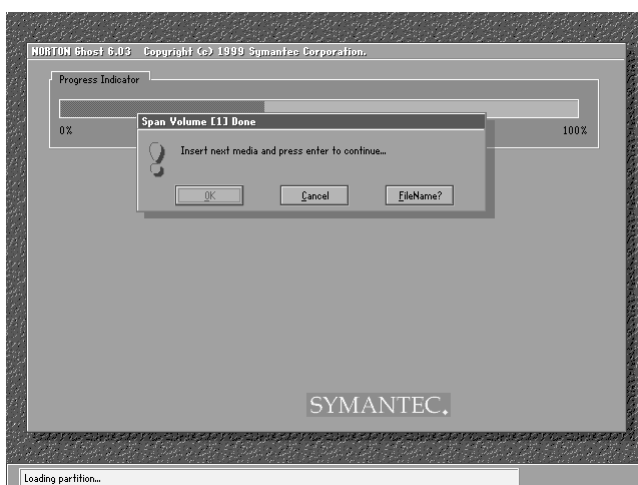
6 表示されるメッセージを確認し、何かキーを押す

ここで表示される画面は、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

6章 再セットアップ

復元中は、次の画面が表示されます。
復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところに達し、もう1度グラフ表示が100%に達すると完了です。

（表示例）

7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合CDを入れ替え、Enterキーを押してください。
処理が続きます。

（表示例）

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

初期インストールソフトウェアの復元

「初期インストールソフトウェアの復元」は完了しました。

CD-ROMやフロッピーディスクを抜いてから、何かキーを
押して、マシンを再起動してください。

8 CDを取り出し、キーを押す

システムが再起動します。
外付けCD-R/RWドライブなどを接続している場合は、パソコンの電源を切りドライブを取りはずしてください。取りはずした後、電源を入れます。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ➪「1章 2-3 Windows 2000のセットアップ」

Microsoft Office (*1) のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office (*1) は、以上の手順では復元されません。
Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を必ず参照のうえ、復元してください。

（*1）Microsoft® Office XP Personal

最小構成でシステムを復元する(Windows 98 モデル)

Windows 98モデルでは、Windowsのみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windowsのセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション＆ドライバCD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。

- 最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。
- 最小構成で復元した場合は、デバイスドライバやアプリケーションはインストールされません。本製品の機能をすべてご利用になるには、「アプリケーション＆ドライバCD-ROM」から、デバイスドライバなどをインストールする必要がありますので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
- 最小構成で復元した場合は、Windowsのセットアップの画面が、パソコンご購入後初めて電源をいれるとき、または標準システムの復元時と異なります。また、Windowsのセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。

1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

ドライブが内蔵されていない場合、外付けCD-R/RWドライブ（型番：PACDR002）などをご用意ください。
また、Windowsセットアップ時にProduct Keyの入力が必要です。Product Keyはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

2 操作手順

注 意
- **復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。**
  ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る

- ドライブが内蔵されていない場合
  パソコンの電源を切り、外付けCD-R/RWドライブなどを接続してから、「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットしてください。

2 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。

3 キーボードの[C]キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

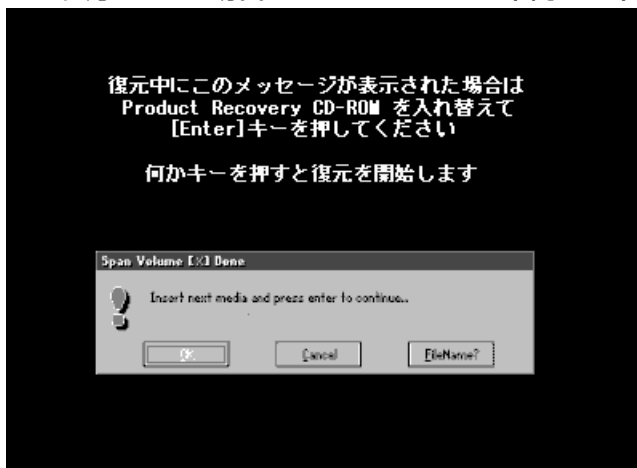
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

4 2キーを押す

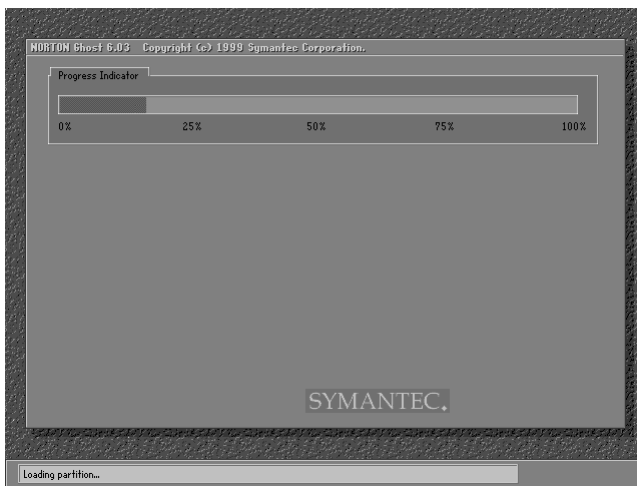
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 Yキーを押す

処理を中止する場合は、Nキーを押してください。

6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す

ここで表示される画面は、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

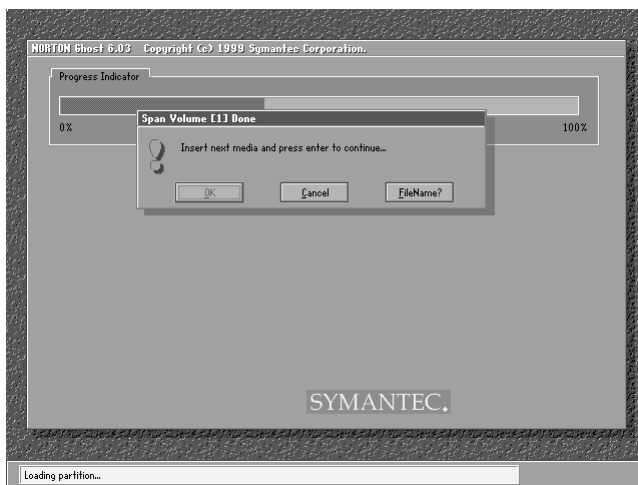
・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

復元中は、次の画面が表示されます。
復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところに達し、もう1度グラフ表示が100%のところに達すると完了です。

（表示例）

7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、Enter キーを押してください。処理が続きます。

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

（表示例）

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

パソコンが再起動し、［最小構成の復元］画面が表示されます。

9 表示されるメッセージを確認し、何かキーを押す

［Windowsセットアップの確認］画面が表示されます。

10 Enter キーを押す

Windowsセットアップウィザードが起動します。

11 Windowsのセットアップを行う

画面の指示に従って操作してください。

セットアップ途中に、［最小構成システムへ復元時に必ずお読みください。］画面が表示されます。最小構成でシステムを復元した時の注意事項が書かれていますので、必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、▲ ▼ボタンをクリックするか、PgUp キー、PgDn キーを使って画面を動かしてください。
読み終わったら、［閉じる］ボタン（ ✕ ）をクリックし、画面を閉じてください。

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう1度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行なってください。
☞ 周辺機器の接続について ➪「3章 9 周辺機器の接続」

アプリケーションを再インストールする(Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションを指定して再インストールすることができます。
再インストールには「アプリケーション＆ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

1 「アプリケーション＆ドライバ CD-ROM」をセットする

●ドライブが内蔵されていない場合
パソコンの電源を切り、外付け CD-R/RW ドライブなどを接続してから、「アプリケーション＆ドライバ CD-ROM」をセットしてください。

アプリケーション＆ドライバ CD-ROM は、複数枚入っている場合があります。

2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［このプログラムを上記の場所から実行する］を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。

・すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行なってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1 困ったときは

パソコン本体を使っていてうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの解決法のヒントをご紹介します。

1 Q&A集を見る前に

設定の確認によく使う、［コントロールパネル］の開きかたを説明します。

方法1－［スタート］メニューから開く

1 **［スタート］ボタンをクリックする**

2 **［設定］にマウスポインタを合わせる**

3 **［コントロールパネル］をクリックする**

［コントロールパネル］が開きます。

方法2－［マイコンピュータ］から開く

1 **デスクトップの［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックする**

2 **［コントロールパネル］アイコンをダブルクリックする**

［コントロールパネル］が開きます。

❷ Q&A 集

電源を入れるとき／切るとき…

表示・画面について

アプリケーションについて

印刷について

キーボード／マウス／アキュポイントⅡについて

周辺機器についてのトラブル

音量について

調子がおかしい！

電源を入れるとき／切るとき…

電源が入らない／システムが起動しない

パソコンの電源が入らない

電源スイッチを押す時間が短い

電源スイッチをしばらく押し続けてください。

一度電源が入りかけるが、すぐに切れる
(Battery LED がオレンジ色に点滅している場合)

バッテリの充電量が少ない

次の操作を行なってください。

- 本製品用の AC アダプタを接続する
  他製品用の AC アダプタは使用できません。
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける
  ☞ バッテリパックの取り付け ➪「3 章 4-5 バッテリパックを交換する」

一度電源が入りかけるが、すぐに切れる
(DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合)

電源の接触が悪い

次の操作を行なってください。

- AC アダプタを抜き差しする
- バッテリパックを抜き差しする

危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は 5 ～ 35℃です。
以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

電源を入れたが、システムが起動しない

休止状態による起動ができなくなった（ 98 ）

休止状態によるパソコンの起動をせずに、システムを再起動してください。この場合、休止状態によって保存されたデータは失われます。

① 電源を切る
② BackSpace キーを押しながら、電源スイッチを押す
　次のメッセージが表示されます。
　「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE.」
③ 何かキーを押す

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まる（ 98 ）

前回使用したときに、Windowsの終了手順に従わずに電源を切った

スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windowsが起動します。
正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。

自動的にプログラムが実行される

Windowsの起動と同時にプログラムが実行される

［スタートアップ］に登録されている

［スタートアップ］に登録されていると、Windows起動と同時にプログラムが自動的に起動します。
次の手順で設定を変更してください。

98

① ［スタート］-［設定］-［タスクバーと［スタート］メニュー...］をクリックする
② ［［スタート］メニューの設定］タブで［削除］ボタンをクリックする
　［ショートカットやフォルダの削除］画面が表示されます。
③ ［スタートアップ］をダブルクリックする
　［スタートアップ］の下にアイコンが表示されます。
④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、［削除］ボタンをクリックする
⑤ ［閉じる］ボタンをクリックする

2000

① [スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー...] をクリックする
② [詳細] タブで [削除] ボタンをクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
③ [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。
⑤ [はい] ボタンをクリックする
⑥ [閉じる] ボタンをクリックする

Windows のタスクスケジューラで設定されている

Windows のタスクスケジューラで [実行する] に設定されていると、設定したスケジュールに従ってタスクを実行します。次の手順で設定を変更してください。

① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [タスク] をクリックする
② 設定されているタスクをダブルクリックする
プログラムが実行された時間などを参考に選択してください。
③ [タスク] タブで [実行する] のチェックをはずす
④ [OK] ボタンをクリックする

電源が切れる

パソコン使用中に電源が切れる

危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は 5 ～ 35℃です。温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

警告音が鳴り、点滅していた Battery LED が消灯した

バッテリの充電量が少なくなった

引き続き使用する場合は、次の操作を行なってください。

・ AC アダプタを接続する
・ 充電済みのバッテリパックを取り付ける

☞ バッテリパックの交換 ➪「3 章 4-5 バッテリパックを交換する」

電源が切れない

電源スイッチを押しても電源が切れず、「ピッピッピッ…」と音が鳴り続ける

次の操作を行なってください。

・ 電源スイッチを５秒以上押す
・ AC アダプタ→バッテリパックの順に取りはずし、バッテリパック→ AC アダプタの順に取り付ける

表示・画面について

画面に何も表示されない

画面に何も表示されない
（Power LED が点灯していない、またはオレンジ点灯している場合）

電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっている

電源スイッチを押してください。

画面に何も表示されない
（Power LED が点灯している場合）

表示自動停止機能が働いた

次の操作を行なってください。

・ Shift キーや Ctrl キーを押す
・ マウスやアキュポイントⅡを操作する

・CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがありますが、故障ではありません。

インスタントセキュリティ機能が働いた

インスタントセキュリティ機能については、「3 章 2- Fn キーを使った特殊機能キー」をご覧ください。解除するには、次の操作を行なってください。

・ パスワードを設定していない場合
Enter キーまたは F1 キーを押す
・ パスワードを設定している場合
パスワードを入力し、Enter キーを押す
☞ パスワード ➪「5 章 4 パスワードセキュリティ」

・パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

表示装置が適切に設定されていない

Fn + F5 キーを押して表示装置を切り替えてください。

押すごとに次の順で表示が切り替わります。

→LCD→LCD／CRT→CRT*→LCD／TV**→TV*

* CRT ディスプレイやテレビを接続していなくてもこの状態に切り替わります。この場合は、パソコン本体の液晶ディスプレイには何も表示されません。

**画面のプロパティで表示装置として「LCD ／ TV」を設定している場合のみ、この状態に切り替わります。

☞ 表示装置の切り替え
➪「3 章 9- CRT ディスプレイやテレビを接続した場合」

画面が見にくい

CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される

他の電気製品の影響を受けている

テレビ、オーディオ機器のスピーカーなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざけてください。

・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。

画面が暗い

画面の輝度が適切ではない

次の手順で画面の輝度（3 段階）を変更してください。

① ［コントロールパネル］を開き、［東芝省電力］をダブルクリックする

② ［電源設定］タブで利用したい省電力モードを選択し、［詳細］ボタンをクリックする

③ ［省電力］タブで［モニタの輝度］を設定する

④ ［OK］ボタンをクリックする

サイドライト用の冷陰極管が消耗している

お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。

・ディスプレイに装着されているサイドライト用の FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。

色が汚い

少ない色数で設定されている

次の手順で設定を変更してください。

① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする

② [設定] タブで 98 [色]、2000 [画面の色] を [HighColor] や [TrueColor] に変更する

③ [OK] ボタンをクリックする

・解像度によっては [TrueColor] に設定できません。

アプリケーションについて

アプリケーションの使いかたについては、『アプリケーションに付属の説明書』、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

アプリケーションが使えない

アプリケーションが使えない

正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。

アプリケーションがシステムに対応していない

アプリケーションによっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。

☞『アプリケーションに付属の説明書』

メモリが足りない

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

☞ メモリの増設 ➪「3章 8 増設メモリ」

システム構成を変更していない

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。

アプリケーションが操作できなくなった

アプリケーションを強制終了する

この場合、保存していないデータは消去されます。

98

① Ctrl+Alt+Del キーを押す
[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。
② [応答なし] と表示されているアプリケーションをクリックする
③ [終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

2000

① Ctrl+Alt+Del キーを押す
[Windowsのセキュリティ] 画面が表示されます。
② [タスクマネージャ] ボタンをクリックする
[Windowsタスクマネージャ] 画面が表示されます。
③ [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションのタスクをクリックする
④ [タスクの終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。
⑤ [Windowsタスクマネージャ] 画面を閉じる

印刷について

印刷できない

印刷ができない

プリンタの電源が入っていない

パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直してください。

正しく接続されていない

接続ケーブルを正しく接続し直してください。

接続しているプリンタと違うプリンタを設定している

プリンタの設定を確認してください。

① [スタート] - [設定] - [プリンタ] をクリックする
② 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
③ 表示されたメニューの「通常使うプリンタに設定」をクリックし、チェックをつける

最後まで正しく印刷できない

ECPに対応していないプリンタを使用している

プリンタのモードを双方向に設定してください。
① [コントロールパネル] を開き、[東芝HWセットアップ] をダブルクリックする
② [プリンタ] タブで [プリンタポートモード] を [双方向] に設定する
③ [OK] ボタンをクリックする

プリンタドライバを更新する

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。
Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードし、ドライバを更新できる場合があります。

上記のすべてを行なっても印刷できない

Windowsを終了し、パソコンを再起動する

プリンタのセルフテスト（印字テスト）を実行する

セルフテストができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

キーボード／マウス／アキュポイントⅡについて

思うように文字が入力できない

キーを押しても希望の文字が入力できない

キーボードの文字入力の状態が合っていない

キーボードの文字キーは、キーボードの入力の状態によって、入力される文字が異なります。次のキーを使ってキーボードを希望の状態にしてください。

98

- Shift + CapsLock英数 キー
- Ctrl + CapsLock英数 キー
- Alt + カタカナひらがな キー
- Fn + F10 キー
- Fn + F11 キー

2000
・ Shift ＋ CapsLock英数 キー
・ Ctrl ＋ Shift ＋ カタカナひらがな キー
・ Fn ＋ F10 キー
・ Fn ＋ F11 キー
☞「3章 2 キーボード」

キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

キーボードドライバが正しく設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

98
① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
② [デバイスマネージャ] タブで [キーボード] を [106日本語 (A01) キーボード (Ctrl＋英数)] に設定する
③ [OK]、または [閉じる] ボタンをクリックする

2000
① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
③ [キーボード] を [日本語PS/2キーボード (106/109キー)] に設定する
④ [閉じる] ボタンをクリックする
⑤ パソコンを再起動する

どのキーを押しても、反応しない
設定は合っているが、希望の文字が入力できない

内部処理が正しく行われなかった

次の操作を行なってください。
・ 電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す

マウス／アキュポイントIIが使えない

マウスが使えない

マウスが認識されていない

次の操作を行なってください。
・ マウスを接続した状態で、電源を入れ直す
・ パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、もう1度パソコン本体の電源を入れる

新しいハードウェアとして認識されていない

次の手順でウィザードを実行してください。

① [コントロールパネル] を開き、次のアイコンをダブルクリックする

98 ：[ハードウェアの追加]

2000 ：[ハードウェアの追加と削除]

② [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

アキュポイントⅡとPS/2マウスが同時に使用できない

ポインティング装置を同時に使用できるように設定されていない

次の手順で設定を変更してください。
ただし、マウスによって同時使用できない場合もあります。

① [コントロールパネル] を開き、[東芝HWセットアップ] をダブルクリックする
② [ポインティング装置] タブで [ポインティング装置] を [内部/外部を同時使用] に設定する
③ [OK] ボタンをクリックする

周辺機器についてのトラブル

周辺機器については「3章 本体の機能」もあわせてご覧ください。

フロッピーディスク、フロッピーディスクドライブについて

「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された

ルートディレクトリに作成できるファイル数を超えた

新しくフォルダを作って、そこにファイルを作成してください。
ルートディレクトリに作成できるファイル数には制限があります。

ファイルが開けない（読み込みエラーやディスクエラーが表示される）

フロッピーディスクに何らかの問題がある

フロッピーディスクを次の手順でチェックしてください。

98

① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [スキャンディスク] をクリックする
② [エラーチェックをするドライブ] 欄で「3.5インチFD（A：）」を選択する
③ [開始] ボタンをクリックする
スキャンディスクを開始します。

2000

① [マイコンピュータ] を開く
② [3.5インチFD] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
③ [ツール] タブで [エラーチェック] の [チェックする] ボタンをクリックする
④ [チェックディスク] 画面で [不良なセクタをスキャンし、回復する] をチェックする
⑤ [開始] ボタンをクリックする
フロッピーディスクのチェックを開始します。

フロッピーディスクドライブが故障している

他のフロッピーディスクで試してみてください。

フォーマットに時間がかかる

未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットしている

Windowsでは、初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、時間がかかります。

FDD/CD-ROM LEDが消えない

データを処理している

大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。LEDが消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは電源を切り、再起動してください。
再起動後、作業を行い、LEDが消えない場合は、電源を切り、お近くの保守サービスに連絡してください。

フロッピーディスクからシステムが起動しない

フロッピーディスクドライブから起動するように設定されていない

次の操作を行なってください。

・ F キーを押したまま、電源スイッチを押す
一時的に、起動ドライブがフロッピーディスクドライブになります。
・ フロッピーディスクドライブから起動するようにユーティリティで設定する
① [コントロールパネル] を開き、[東芝HWセットアップ] をダブルクリックする
② [OSの起動] タブで [OSの起動] を [FDD] が最初になるように設定する
③ [OK] ボタンをクリックする

CD／DVD、ドライブについて＊

＊内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

CD／DVDにアクセスできない

ディスクトレイがきちんとしまっていない

カチッと音がするまで押し込んでください。

☞ CD／DVDのセット ➪「3章 6-2 CD／DVDのセットと取り出し」

CD／DVDがきちんとセットされていない

ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。

ディスクトレイ内に異物がある

異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。

CD／DVDが汚れている

汚れているようなら、乾燥した布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。

ドライブがCD／DVDを認識していない

FDD/CD-ROM LEDが点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう1度アクセスしてください。

CD／DVDをセットしても自動的に起動しない

自動起動に対応していないCD／DVDを挿入している

自動起動に対応していないCD／DVDは自動起動できません。『各CD／DVDに付属の説明書』などで確認してください。
対応していないときは、次の手順で起動することができます。
① デスクトップの［マイコンピュータ］をダブルクリックする
② ドライブのアイコンをダブルクリックする

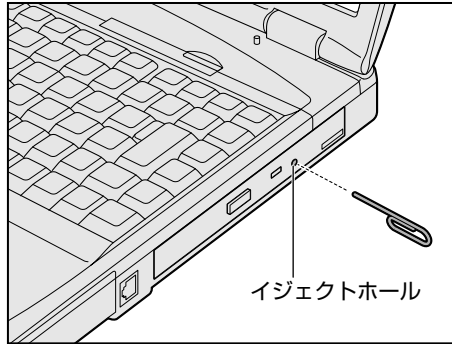
正しく動作するCD／DVDもあるが、動作しないCD／DVDもある

使用環境の設定が必要なCD／DVDを使用している

各CD／DVDによって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『各CD／DVDに付属の説明書』を読んで、それぞれのCD／DVDに合った環境を設定してください。CD-R、CD-RWは、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

CD／DVDが取り出せない

 パソコン本体の電源が入っていない

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。
故障などで電源が入らない場合は、ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。

PCカードについて

 PCカードの挿入が認識されない

 PCカードを奥までしっかり差し込む

☞ PCカードの取り付け ➪「3章 7 PCカード」

 PCカードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

 PCカードのコントローラモードが正しく設定されていない

セットアッププログラムを起動し、［PC CARD］の［Controller Mode］の設定を変更してください。
☞ セットアッププログラム ➪「5章 3 セットアッププログラム」

 MS-DOS上で使用しようとしている

本製品はWindows専用モデルです。MS-DOSモードでPCカードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません（一部のPCカードを除く）。

デバイスとして認識されるが使用できない

IRQが不足している

使用しないデバイスを使用不可にしてください。

98

① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
② [デバイスマネージャ] タブで使用しないデバイスの ⊞ をクリックする
③ 表示される項目から使用しないデバイスを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする
④ [全般] タブで [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックする
⑤ [OK] ボタンをクリックする
[システムのプロパティ] 画面に戻ります。
⑥ [閉じる] ボタンをクリックする

2000

① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
③ [デバイスマネージャ] で使用しないデバイスの ⊞ をクリックする
④ 表示される項目から使用しないデバイスを右クリックし、[無効] をクリックする
確認のメッセージが表示されます。
⑤ [はい] ボタンをクリックする
⑥ [デバイスマネージャ] を閉じる
[システムのプロパティ] 画面に戻ります。
⑦ [OK] ボタンをクリックする

LAN機能が使えない

ネットワークに接続できない

ネットワークの設定が正しくない

次の点をネットワーク管理者に確認してください。

- Windowsのネットワーク設定を確認する
- 相手先のネットワーク機器（HUB）などの設定を確認する
- ケーブルの状態を確認する

USB対応機器について

USB対応機器が使えない

USB対応機器がシステムに対応していない

USB対応機器によっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。

☞『USB対応機器に付属の説明書』

正しく接続されていない

ケーブルが、パソコン本体とUSB対応機器に正しく接続されているかどうか確認してください。

ドライバが正しくインストールされていない

ハードウェアウィザードを実行してください。

① ［コントロールパネル］を開き、次のアイコンをダブルクリックする

98 ：［ハードウェアの追加］

2000 ：［ハードウェアの追加と削除］

② ［次へ］ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

Windowsを再起動する

休止状態から復帰後、正常に動作しない

休止状態に対応していないUSB対応機器を接続している

USB対応機器をUSBコネクタからはずし、もう1度接続してください。

赤外線通信について

赤外線通信ができない

赤外線通信ができる環境になっていない

次のことを確認してください。

・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
・ 赤外線ポート間の障害物を取り除く
・ 赤外線ポートの汚れをおとす
・ 赤外線ポートの設定を正しく設定する

赤外線通信ソフトが使えない

「マイクロソフト赤外線通信ソフト」が正しく設定されていない（ 98 ）

次の手順で設定してください。

① ［コントロールパネル］を開き、［赤外線モニタ］をダブルクリックする
② ［オプション］タブで［赤外線通信を使用可能にする］をチェックする

赤外線通信はできるが、データが正しく送られない

正しく通信できる環境になっていない

次のことを行なってみてください。

・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
・ 通信先との距離を近付ける
・ 直射日光や蛍光灯の当たる場所からパソコンを離す
・ 赤外線を出す装置をパソコン本体から離す

音量について

スピーカから音が聞こえない

スピーカから音が聞こえない

ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある

ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。

パソコン本体にあるボリュームダイヤルで音量を調節する

システムビープ音が鳴らない

システムスピーカが無効になっている

次の手順で設定を変更してください。

① [コントロールパネル］を開き、［東芝 HW セットアップ］をダブルクリックする
② [アラーム］タブで［システムビープ音を鳴らす］をチェックをする
③ [OK］ボタンをクリックする

音量の設定が「ミュート」になっている

次の手順で設定を変更してください。

① タスクバーの［音量］アイコンをクリックする
② ［ミュート］にチェックがついている場合は、クリックし、チェックをはずす
③ つまみを上下にドラッグして調整する
　つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

サウンドドライバがインストールされていない（2000）

サウンドドライバをインストールしてください。
詳しくは、アプリケーションCDをセットして表示される画面をご覧ください。

標準の優先するデバイスが変更されている（98）

次の手順で優先するデバイスを正しく設定してください。

① ［コントロールパネル］を開き、［マルチメディア］をダブルクリックする
② ［オーディオ］タブの［再生］で［優先するデバイス］を正しく設定する
③ ［OK］ボタンをクリックする

おかしな音が聞こえる

甲高い音がする

外部マイクとスピーカとでハウリングを起こしている

使用するソフトウェアによっては、この現象が起きることがあります。
次の操作を行なってください。

・ パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節する
・ 使用しているソフトウェアの設定を変える
・ Windows上から音量の設定を調整する

調子がおかしい！

テレビ・ラジオに障害が出る

テレビ、ラジオの調子がおかしい

何らかの原因がある

次の操作を行なってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

休止状態にならない

休止状態にならない（98）

ドライブCが圧縮されている

圧縮を解凍してください。

休止状態に対応していない周辺機器（PCカードなど）を取り付けている

休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてください。

休止状態が有効になっていない

休止状態が無効の状態で［スタート］メニューの［休止状態］をクリックしても、「休止状態へ移行するには、［東芝省電力］で休止状態を許可して下さい。」というメッセージが表示され、休止状態にはなりません。
次の手順で「東芝省電力ユーティリティ」の設定を変更してください。

① ［コントロールパネル］を開き、［東芝省電力］をダブルクリックする
② ［休止状態］タブで［休止状態をサポートする］をチェック する（☑）
③ ［OK］ボタンをクリックする

休止状態用のファイルが壊れている

次の操作を行なってください。

① [スタート] メニューから [Windowsの終了] - [MS-DOSモードで再起動する] を選択する
② HALLOC Space /C Enter と入力する
③ EXIT Enter と入力する

スタンバイ状態になってしまう

休止状態が有効になっていない

次の手順で「東芝省電力ユーティリティ」の設定を確認してください。

① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする (☑)
③ [適用] ボタンをクリックする
④ [電源設定] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
⑤ [動作] タブでそれぞれのメニューから [休止状態] を選択する
⑥ [OK] ボタンをクリックする

スタートアップに休止状態の妨げになるアプリケーションソフトが登録されている

スタートアップからアプリケーションソフトの登録をはずし、Windowsを再起動してください。

パソコンの動作がおかしい

バッテリパックは充電したのに、すぐBattery LEDがオレンジ色に点滅する

バッテリパックの充電機能が低下している

別売りのバッテリパックと交換してください。

使用中に処理が遅くなる

CPUの温度が上がった

CPUは高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPUの温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。

使用中に操作できなくなった

パソコンの調子がおかしい

次の操作を行なってください。

- 電源スイッチを５秒以上押し続ける
  電源スイッチを５秒以上押し続けると電源が強制切断されます。もう１度電源スイッチを押してください。この場合、保存していないデータは消失します。
- 電源をOFFにし、BackSpace キーを押しながら電源スイッチを押す（98）
  BackSpace キーは［ハイバネーションエラー］が表示されるまで押し続けてください。
- すべての電源を抜いて、再起動する
  ① ACアダプタをはずしてから、バッテリをはずす
  電源がOFFになります。
  ② バッテリを取り付けてから、ACアダプタを取り付ける
  ③ もう１度電源スイッチを押す

設定した日付と時刻が合っていない（進む／遅れる）

時計用バッテリが充電されていない

パソコン本体にACアダプタを接続し、時計用バッテリを充電してください。

時計用バッテリの充電機能が低下している

お近くの保守サービスにご連絡ください。

充電したはずのバッテリパックを使用しても、パソコンのBattery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリがフル充電状態を示さない

長時間バッテリパックを使用していなかった

長時間バッテリパックを使用していなかった場合、新しいバッテリパックと交換して充電してください。
それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

しばらく充電をして様子をみる

しばらく充電を続けて、様子をみてください。

その他調子がおかしい

調子がおかしい

応答しないアプリケーションを強制終了する

☞「アプリケーションが使えない-Q アプリケーションが操作できなくなった」

アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、次の操作を行なってください。

強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次のとおりです。この場合、作業中の保存していないデータは消去されます。

98

① Ctrl + Alt + Del キーを押す
　［プログラムの強制終了］画面が表示されます。
② ［シャットダウン］ボタンをクリックする
　アキュポイントⅡやマウスで操作できない場合は、Alt+Sキーを押してください。
　プログラムを強制終了し、電源が切れます。
③ パソコンの電源を入れる
　自動的にスキャンディスクが実行されることがあります。

2000

① Ctrl + Alt + Del キーを押す
　［Windows のセキュリティ］画面が表示されます。
② ［シャットダウン］ボタンをクリックする
　アキュポイントⅡやマウスで操作できない場合は、Alt+Sキーを押してください。
　シャットダウン画面が表示されます。
③ ［シャットダウン］を選択し、［OK］ボタンをクリックする
　アキュポイントⅡやマウスで操作できない場合は、↑ ↓キーで［シャットダウン］を選択し、Enterキーを押してください。
　プログラムを強制終了し、電源が切れます。
④ パソコンの電源を入れる

ウィルスに感染している

ウィルスチェックソフトでウィルスチェックを行い、ウィルスが発見された場合は駆除してください。

不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧になってもわからない場合、次の点をご確認ください。

「Password =」と表示される

パスワードが設定されている

設定したパスワードを入力し、Enter キーを押してください。
パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

☞ パスワード、キーフロッピーディスク
➪「5章 4 パスワードセキュリティ」

「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

大文字ロック状態でパスワードを入力した

Shift + Caps Lock 英数 キーを押して大文字ロック状態を解除し、もう1度入力してください。

「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE」と表示された

休止状態が無効になった

電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。

「Previous resume from hibernate failed. Would you like to try again [Enter=Y, Esc=N] ?」と表示された

休止状態が無効になった

電源を切る前の状態は再現できません。Y キーを押してください。もう1度同じメッセージが表示された場合は、Esc キーを押してください。

使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので…」というメッセージが表示された

ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった

画面の指示に従い、［閉じる］ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。

次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
- 「Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」

フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す

システムディスクをセットし、何かキーを押す

「Boot sequence is changed.」と表示された

システム起動の順番が変更された

指定したドライブから起動を開始します。
しばらくお待ちください。

「C:¥WINDOWS>_」や「C:¥>_」と表示された

MS-DOS プロンプトが全画面表示されている

次の方法を行なってください。

■方法 1 － MS-DOS プロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える

① Alt + Enter キーを押す

■方法 2 － MS-DOS プロンプト画面を終了する

① E X I T とキーを押す
② Enter キーを押す

7章 困ったときは

「KBC ERROR」と表示された

PS/2 マウス、および PS/2 キーボードが接続されている

パソコン本体の電源を切り、PS/2 マウス、および PS/2 キーボードを取りはずしてからもう 1 度起動させてください。
それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障のおそれがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。

「Please remove the incompatible Memory module in Slot A（B）」と表示された

本製品に対応していない増設メモリを（スロット A または B に）接続している

本製品に対応している増設メモリが取り付けられているか確認してください。

「Bad　××××　××××」と表示された

セットアッププログラムを標準設定の状態にする

次の手順で行なってください。

① F1 キーを押す
　セットアッププログラムの画面が表示されます。
　☞ セットアッププログラムの画面
　　　➪「5 章 3-3 セットアッププログラムの画面」
② Home キーを押す
③ End キーを押す
　確認のメッセージが表示されます。
④ Y キーを押す
　標準設定の状態にし、セットアッププログラムが終了します。
　パソコンは再起動されます。

「WARNING：×××××」と表示された

Enter キーを何回か押してください。

上記以外のメッセージが表示される

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧ください。

異常や故障の場合

異常な臭いや過熱に気づいた！

電源を切り、電源コードを抜く

お近くの保守サービスにご連絡ください。
なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。
・使用している機器の名称
・ご購入年月日
・現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

操作できない原因がどうしてもわからない

東芝 PC ダイヤルにご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。
・使用している機器の名称
・ご購入年月日
・現在の状態

東芝 PC サービス・サポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝 PC サービス･サポートのご案内』をご覧ください。

付録

本製品の仕様について説明しています。

1 製品仕様

基本仕様

機　種		DynaBook Satellite1800シリーズ
プロセッサ	CPU*1	「PC診断ツール」を参照
メモリ	ROM	512KB（フラッシュROM）、 ACPI 1.0b、APM 1.2、Plug and Play 1.0a
	RAM*1	「PC診断ツール」を参照（最大512MB）
	ビデオRAM	8MB（メインメモリと共用）
表示機能	表示装置*1	冷陰極管サイドライト方式 14.1型TFT／13.3型TFT
	グラフィック表示	横1024×縦768　1画面
入力装置	キーボード	JIS配列準拠　90キー（文字キー、制御キーの合計）
	ポインティングデバイス	アキュポイントII、コントロールボタン、スクロールボタン内蔵
補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ	1台内蔵 2DD、または2HD型フロッピーディスクを使用 720KB（2DD）／1.2MB、1.44MB（2HD）
	ハードディスクドライブ*2	2.5型 1台装備
	ドライブ*1	CD-ROMドライブ 1台内蔵、最大24倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション
		DVD-ROMドライブ 1台内蔵、最大8倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション DVD-ROM、DVD-Video対応
		CD-R/RWドライブ 1台内蔵 CD　：最大24倍速 CD-R　：最大8倍速 CD-RW　：最大4倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション
		マルチドライブ 1台内蔵 CD　：最大24倍速 DVD、CD-R　：最大8倍速 CD-RW　：最大4倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション

＊1　ご購入のモデルによって異なります。

＊2　ハードディスク容量は、ハードディスクドライブのプロパティで確認できます。プロパティを表示するには、デスクトップ上の［マイコンピュータ］からハードディスクドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プロパティ］をクリックします。

機　種		DynaBook Satellite1800シリーズ
インタフェース	RS-232C	1個装備 非同期115.2kbpsまで対応（ハードウェア仕様）
	プリンタ	1個装備（ECP）
	PS/2	1個装備
	RGB	1個装備
	USB	2個装備
	PCカード	2個装備　PC Card Standard準拠 （TYPE Ⅱ×2、またはTYPE Ⅲ×1）　CardBus対応
	LAN	1個装備　100Base-TX／10Base-T
	無線LAN*3	1個装備　IEEE802.11b準拠　11Mbpsまで対応
	モデム*4	1個装備
	サウンド	マイク入力（モノラル） 　ミニジャック1個装備（Φ3.5mmミニジャック） ヘッドホン出力 　ミニジャック1個装備（Φ3.5mmミニジャック） 内蔵スピーカ（ステレオ）装備
	ビデオ出力	1個装備（RC Aピンジャック）
	赤外線通信機能	1ポート装備　IrDA 1.1準拠
カレンダ機能		日付、時計機能を標準装備 充電型電池によるバックアップ
電源	ACアダプタ	AC100V～240V（50Hz、または60Hz）ACアダプタ
	バッテリ	バッテリパック　Li-Ion 10.8V　4500mAh
最大消費電力		約60W
使用環境条件		温度：5℃～35℃　湿度：20%～80%Rh
外形寸法（突起部除く）		322（幅）× 274（奥行）× 39.5（高さ）mm
質量		約3.17kg

＊3　無線LANモデルのみ

＊4　モデム内蔵モデルのみ

仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

ACアダプタの仕様は次のとおりです。

　入力：AC100V～240V（0.75A～0.35A）　50/60Hz

　出力：DC15V、4A

また、消費電力の仕様は次のとおりです。

　最大消費電力：60W（電源スイッチオン時）

　最小消費電力：約11.5W（電源スイッチオン時）

　　　　　　　　約2.5W（電源スイッチオフ時）

パソコンの電源を切った後に、電源コードを抜くと消費電力はゼロになります。

本機器は、「機器のリサイクルに適した設計」となっています。

PC 診断ツール

「PC 診断ツール」で本製品の CPU、OS、ディスプレイなどに関する情報を確認することができます。
Windows2000 モデルの場合は、添付のアプリケーション CD からインストールする必要があります。インストール方法については、アプリケーション CD をセットし、表示される画面をご覧ください。

起動方法

1 **[スタート] - [プログラム] - [東芝ユーティリティ] - [PC 診断ツール] をクリックする**

ＰＣ診断ツールが起動します。

2 **[基本情報の表示] ボタンをクリックする**

本製品の基本情報が表示されます。

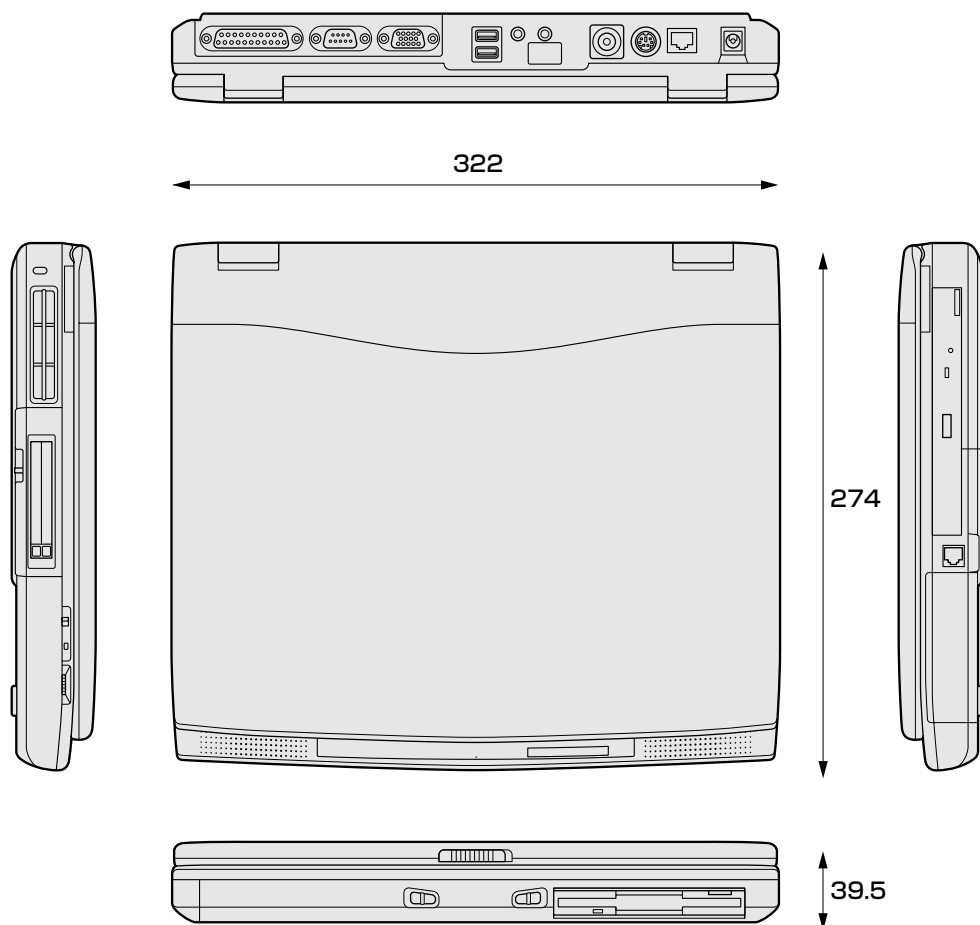
PC 診断ツールについて、詳しくは PC 診断ツールのヘルプをご覧ください。

ヘルプの起動方法

1 **PC 診断ツールを起動する**

2 **[ヘルプ] ボタンをクリックする**

外形寸法図

＊イラストは 14 インチモデルです。

（突起部を含まず）
（単位 mm）

サポートしているビデオモード

ディスプレイコントローラによって制御される画面の解像度と表示可能な最大色数を定めた規格をビデオモードと呼びます。
本製品でサポートしている英語モード時のすべてのビデオモードを次に示します。
モードナンバは一般に、プログラマがそれぞれのモードを識別するのに用いられます。アプリケーションソフトがモードナンバによってモードを指定してくる場合、そのナンバが図のナンバと一致していないことがあります。この場合は解像度とフォントサイズと色の数をもとに選択し直してください。

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	LCDの表示	CRTの表示	CRTリフレッシュレート(Hz)
0,1	VGAテキスト	40×25字	8×8	16/256K		70
2,3	VGAテキスト	80×25字	8×8	16/256K		70
0*,1*	VGAテキスト	40×25字	8×14	16/256K		70
2*,3*	VGAテキスト	80×25字	8×14	16/256K		70
0+,1+	VGAテキスト	40×25字	8(9)×16	16/256K		70
2+,3+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	16/256K		70
4,5	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	4/256K		70
6	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	2/256K		70
7	VGAテキスト	80×25字	8(9)×14	モノクロ		70
7+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	モノクロ		70
D	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	16/256K		70
E	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	16/256K		70
F	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	モノクロ		70
10	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	16/256K		70
11	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	2/256K		60

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	LCDの表示	CRTの表示	CRTリフレッシュレート(Hz)
12	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	16/256K		60
13	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	256/256K		70
―	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	―	256/256K		60/75/85
―	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	―	256/256K		60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	―	256/256K		60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット	―	256/256K*1	256/256K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1600×1200 ドット	―	256/256K*1	256/256K	60
―	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	―	64K/64K		60/75/85
―	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	―	64K/64K		60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	―	64K/64K		60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット	―	64K/64K*1	64K/64K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1600×1200 ドット	―	64K/64K*1	64K/64K	60
―	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	―	16M/16M		60/75/85
―	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	―	16M/16M		60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	―	16M/16M		60/75

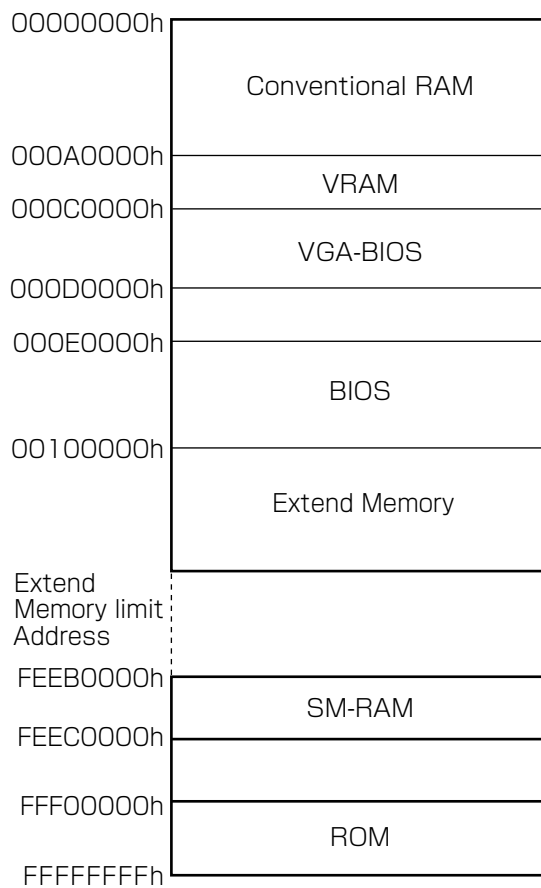
＊1：実際の画面（1024 × 768）内に、仮想スクリーン表示します。

本製品のディスプレイは、640 × 480 ドットのモードを選択しても、1024 × 768 ドットのタイミングで動作しています。そのため、VGA 専用の CRT ディスプレイとの同時表示はできません。同時表示をする場合は、SVGA の CRT ディスプレイを使用してください。

付録

メモリマップ

本製品では、メモリを次のように使用しています。

アドレス	領域
00000000h	Conventional RAM
000A0000h	VRAM
000C0000h	VGA-BIOS
000D0000h	
000E0000h	BIOS
00100000h	Extend Memory
Extend Memory limit Address	
FEEB0000h	SM-RAM
FEEC0000h	
FFF00000h	ROM
FFFFFFFFh	

I/O ポートマップ

本製品を、標準のハードウェア構成で使用した場合のマップです。

アドレス	割り当て
000h	DMAコントローラ #1
020h	IRQコントローラ #1
040h	タイマ
060h	KBC
070h	NMIマスクレジスタ
	RTC
080h	DMAページレジスタ
0A0h	IRQコントローラ #2
0C0h	DMAコントローラ #2
0F0h	(NDP)
110h	赤外線
170h	CD-ROM/DVD-ROM/CD-R/RW/マルチドライブ
178h	
1F0h	HDC
200h	
220h	
230h	
240h	
250h	
278h	プリンタポート #2
2E8h	シリアルポート #4
2F0h	
2F8h	シリアルポート #2、赤外線
300h	
376h	CD-ROM/DVD-ROM/CD-R/RW/マルチドライブ
378h	プリンタポート #1
380h	
3B0h	VGA
3BCh	プリンタポート #3
3C0h	VGA
3E0h	東芝PCカード インタフェース コントローラ
3E8h	シリアルポート #3
3F0h	FDC
3F8h	シリアルポート #1
400h	
678h	プリンタポート #2
67Bh	
778h	プリンタポート #1
77Bh	
7BCh	プリンタポート #3
7BFh	
C980h	モデムポート #1
C9FFh	
CA00h	モデムポート #2
CAFFh	
DF40h	LANポート
DF7Fh	

付録

DMA使用リソース

DMA		PIT
0		1
1	赤外線	
2	FDC、プリンタポート（ECP）	
3	プリンタポート（ECP）	
4	Cascade for CTLR1	2
5	なし	
6	なし	
7	なし	

IRQ使用リソース

IRQ		PIT
0	タイマ（PIT）	#1
1	キーボード（KBC）	
2	IRQ8～15 PIT＃2入力	
3	COM4、COM2	
4	COM1、COM3	
5		
6	TOSHIBA 3 mode Floppy（FDC）	
7	プリンタポート	
8	リアルタイムクロック（RTC）	#2
9	ACPIバス	
10	赤外線	
11	サウンド、LAN、USBコントローラ、PCカードコントローラ、表示コントローラ、モデム	
12	マウス	
13	NDP	
14	HDC	
15	CD-ROM／DVD-ROM／CD-R/RW／マルチドライブ	

各インタフェースの仕様

PRT インタフェース

ピン番号	信号名	意　味	信号方向
1	-STROBE	PD0～7のデータを書き込むための同期出力信号	O
2	PD0	PD0のデータを送信する信号	I/O
3	PD1	PD1のデータを送信する信号	I/O
4	PD2	PD2のデータを送信する信号	I/O
5	PD3	PD3のデータを送信する信号	I/O
6	PD4	PD4のデータを送信する信号	I/O
7	PD5	PD5のデータを送信する信号	I/O
8	PD6	PD6のデータを送信する信号	I/O
9	PD7	PD7のデータを送信する信号	I/O
10	-ACK	-STROBEに対するデータ受信完了信号	I
11	BUSY	データ受信できるかどうかを示すステータス信号	I
12	PE	用紙切れを知らせるステータス信号	I
13	SELCT	セレクト／ディセレクト状態を示すステータス信号	I
14	-AUTFD	自動用紙送り機構用信号	O
15	-ERROR	アラーム状態を示すステータス信号	I
16	-PINT	初期状態に戻す信号	O
17	-SLIN	未使用	O
18	GND	信号グランド	
19	GND	信号グランド	
20	GND	信号グランド	
21	GND	信号グランド	
22	GND	信号グランド	
23	GND	信号グランド	
24	GND	信号グランド	
25	GND	信号グランド	

コネクタ図

D-SUB 25ピンメス

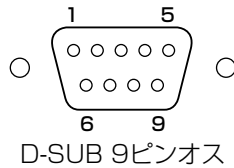
信号名　　　　：ーがついているのは、負論理の信号です。
信号方向（I）：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

付録

COMMS インタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グランド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

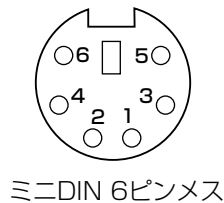
コネクタ図

D-SUB 9ピンオス

信号方向（I）　：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

PS/2 インタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	MOUSDT	マウスデータ	I/O
2	EXTKBDT	キーボードデータ	
3	GND	グランド	
4	VCC	5V	
5	MOUSCK	マウスクロック	I/O
6	EXTKBCK	キーボードクロック	I/O

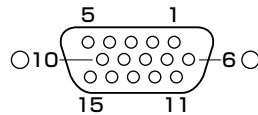
コネクタ図

ミニDIN 6ピンメス

信号方向（I）　：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

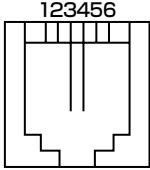
RGB インタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	SDA	SDA通信信号	
13	-CHSYNC	水平同期信号	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号	O
15	SCL	SCLデータクロック信号	

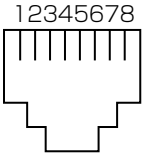
コネクタ図

5　1
10　6
15　11

高密度D-SUB 3列15ピンメス

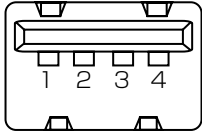
信号名　　　：－がついているのは、負論理の信号です。
信号方向（I）：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

付録

モデムインタフェース

＊モデム内蔵モデルのみ

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	-	ノーコンタクト	
2	-	ノーコンタクト	
3	TIP	電話回線	I/O
4	RING	電話回線	I/O
5	-	ノーコンタクト	
6	-	ノーコンタクト	
コネクタ図			
123456			

信号方向（I）　：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

LAN インタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	TX	送信データ（+）	O
2	-TX	送信データ（−）	O
3	RX	受信データ（+）	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ（−）	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	
コネクタ図			
12345678			

信号名　　　　　：ーがついているのは、負論理の信号です。
信号方向（I）　：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

USB インタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	VCC	+5V	
2	-Data	マイナスデータ	I/O
3	+Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グランド	

コネクタ図

信号名　　　　：ーがついているのは、負論理の信号です。
信号方向（I）：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

アプリケーションお問い合わせ先一覧

本製品にインストールされているアプリケーションのお問い合わせ先をご紹介します(2001年4月現在)。
インストールされているアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

アプリケーション名	お問い合わせ先
Fn-esse Microsoft®Internet Explorer Microsoft®Outlook®Express PC診断ツール 東芝省電力ユーティリティ 東芝HWセットアップ 内蔵モデム用地域選択ユーティリティ	東芝PCダイヤル ナビダイヤル(全国共通電話番号) TEL　：0570-00-3100 受付時間：9:00～18:00(平日) 9:00～17:30(土曜日・日曜日) (祝日、12／31～1／3を除く) お客様からの電話は全国6箇所(千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市)の最寄りの拠点に自動的に接続されます。海外からの電話、携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780で受け付けております。 **ご注意** ・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません(サポート料金は無料です)。 ・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。
Microsoft®Bookshelf®Basic Microsoft®Excel 2002 Microsoft®Outlook 2002 Microsoft®Word 2002	マイクロソフト株式会社　お問い合わせ各種窓口 無償サポート専用回線 東京　：03-5354-4500 大阪　：06-6347-4400 受付時間：9:30～12:00、13:00～19:00 (サポート休業日・土・日・祝祭日を除く) 有効期間：お客様が初めてお問い合わせをいただいた日から起算して90日間 技術サポート以外のお問い合わせ窓口 (マニュアルの乱丁・落丁、ディスク不良、欠品およびオフィシャルユーザー登録／変更に関するお問い合わせ) マイクロソフトカスタマーインフォメーションセンター TEL　：03-5454-2300 受付時間：9:30～12:00、13:00～17:30 (サポート休業日・土・日・祝祭日を除く) ※上記以外に聴覚・言語に障害があるかたのための窓口もご用意させていただいております。
いきなりインターネット	東芝情報システム株式会社 infoPepperインターネットサービスサポート窓口 TEL　：044-201-0450 受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝祭日、当社休業日を除く) FAX　：044-246-1131 FAX音声情報サービス ：044-201-0449(24時間受付) E-mail　：support@staff.pep.ne.jp ホームページ：http://www.pep.ne.jp/

廃棄について

バッテリパックについて

不要になったバッテリパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁(ぜつえん)テープを貼ってください。

バッテリパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

社団法人 電池工業会
TEL：03（3434）0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。
（本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が、LCD表示部に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。）

企業でパソコンをご使用のお客様へ

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。
東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。
使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

東芝パソコンリサイクルセンター
〒230-0034 神奈川県横浜市鶴見区寛政町20－1
株式会社テルム内
TEL　　：045－510－0255
受付時間：9：00～17：00（土・日・祝日・当社指定の休日を除く）
FAX　　：045－506－7983（受付時間：24時間）

個人情報の削除について

パソコン内のデータは、個人的に作成した情報が多く含まれています。廃棄の際には、第三者に情報が漏れないようにこれらの情報を削除することをおすすめします。

お客様登録の削除について

お客様登録されている製品を廃棄される場合は、「パソコンお客様ご登録係」までご連絡のうえ、登録の削除の手続きをお願いいたします。

【お問い合わせ先】

パソコンお客様ご登録係
TEL　　：043-278-5997
受付時間：9：00～17：00（土・日・祝日・特別休日を除く）

さくいん